

事業所名

こども発達センターあかいはの森 児童発達支援【むーとん】

支援プログラム

作成日

2024年

9月

20日

法人（事業所）理念	誰もいが得られるあたりまえの生活の中で、障がいだけに目を向けるのではなく、子どもたちの人権を尊重し、一人ひとりの豊かな成長を願って、楽しく、気持ちの良い安心した生活を送ることができるように、総合的に応援します。					
支援方針	個別支援計画を作成し、一人ひとりに合った療育を行います。小集団での遊びや設定保育を経験することで、お子さんの心身の発達を促します。決まった活動の中で生活リズムを整えるとともに、音楽・感覚・運動などのあそびを通して、基本的な生活習慣やコミュニケーションの方法を身に付けていきます。作業療法士・言語聴覚士・理学療法士・臨床発達心理士などの専門職による支援もいたします。					
営業時間	8時	30分	17時	0分	送迎実施の有無	有（基本的にはご家族送迎。車がない等のご事情がある際は考慮します）
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<p><健康状態の維持・改善></p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な体を育て、健康で安全な生活を作り出さすことを支援します。 こどもの心身の状態の変化や発達の過程・特性等に配慮し、小さなサインでも心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行います。 粗大運動を取り入れ、体力や運動能力の向上の支援をします。 外活動を取り入れることで自律神経機能の向上や健康な発育を支援します。 <p><生活習慣や生活リズムの形成></p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠・食事・排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。 健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援をします。 <p><基本的な生活スキルの獲得></p> <ul style="list-style-type: none"> 食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活の基本的技能を獲得できるよう、構造化（生活環境の工夫）を行いながら適切な時期に適切な支援をします。 作業療法士、言語聴覚士、理学療法士などの医療的な専門職が障害特性に応じて必要な個別のハビリテーションを提供します。 				
	運動・感覚	<p><姿勢と運動・動作の基本的技能の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> 普段のあそびを通して、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図ります。 <p><姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもの適正に評価し、姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、様々な補助用具等の補助手段を活用しこれらができるよう支援していきます。 <p><保有する感覚の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 保有する視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚を十分に活用できるよう、あそび等を通して支援します。 <p><感覚の特性への対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を理解し、安心して過ごせるよう環境設定等を行います。 				
	認知・行動	<p><認知の特性についての理解と対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の認知の特性を理解し、適切に動けるよう環境設定を行います。 <p><対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得></p> <ul style="list-style-type: none"> ○感覚や認知の活用 <ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集し認知機能の発達を促す支援をします。 ○知覚から行動への認知過程の発達 <ul style="list-style-type: none"> 環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。 ○認知や行動の手掛かりとなる概念の形式 <ul style="list-style-type: none"> 物や空間、時間等の概念の形成を図ることで、認知や行動の手掛かりとして活用できるよう支援します。 ○数量、大小、色等の習得 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活場面での活動を通して、子どもの発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のために具体的な働きかけを日常生活の中で行います。 ○認知の偏りへの対応 <ul style="list-style-type: none"> 個々の特性（こだわり、偏食等）に配慮し、入ってくる情報を適正に処理できるよう環境調整等を配慮しながら支援します。 <p><行動障害への予防及び対応></p> <ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生ずる行動障害に対して、環境調整など予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた対応を行います。 				
	言語コミュニケーション	<p><コミュニケーションの基礎的能力の向上・コミュニケーション手段の選択と活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、子どもの発達段階に対するコミュニケーション手段（指さし、身振り、サイン等）を設定し、意思のやりとりが行えるようにします。また、多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援します。 <p><言語の受容及び表出></p> <ul style="list-style-type: none"> 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出することができるように支援を行います。 <p><言語の形成と活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつけること等により、自発的な発声を促し、体系的な言語を身に付けることができるように支援をします。 <p><人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得></p> <ul style="list-style-type: none"> 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行います。 <p><読み書き能力の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> 障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 				
	人間関係社会性	<p><アタッチメント（愛着）の形成と安定></p> <ul style="list-style-type: none"> 人間関係の意識と身近な人（保護者・職員等）と親密な関係を基盤とし、周囲の人との信頼感、安心感を育む支援を行います。 自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が側で寄り添うことで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるよう支援します。 <p><遊びを通じた社会性の促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○模倣行動の支援 <ul style="list-style-type: none"> 遊び等を通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促していく環境調整並びに関わりを実践していきます。 ○感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 <ul style="list-style-type: none"> 感覚や運動機能を働かせる遊びから、見立て遊びやごっこ遊び等の象徴遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。 ○一人遊びから協同遊びへの支援 <ul style="list-style-type: none"> 一人遊び・並行遊び・連合遊び・ルールを守って遊ぶ協同遊びといったスモールステップでの遊びの育ちを促し、徐々に社会性の発達を支援します。 <p><自己の理解と行動の調整></p> <ul style="list-style-type: none"> 大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援を実践していきます。 <p><仲間づくりと集団への参加></p> <ul style="list-style-type: none"> 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通して、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援します。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 母子通園をすることで、周囲の人ならびに保護者とのアタッチメントを形成するための支援を行います。 日々通園しながら、こどもの特性の把握や困りごとの相談（きょうだいを含む）にのる時間の確保をしっかりとります。 保護者同士の交流の時間が確保されているので、孤立感の軽減、仲間づくりの手助けの場になります。 行事の中に、特性の理解につながる専門職による勉強会（ペアレント・プログラム等）、家族全体を支援していく観点から、父親参観（勉強会）・祖父母参観・支援中のきょうだいのお預かり等を行ってます。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <保育所等への移行支援、ライフステージの切り換えを見据えた将来的な移行に向けた準備> 本人の強み、感覚や認知の特性を移行先と情報共有し、本人や受け入れ先が安心してすごせるよう支援します。 <保育所等と併行利用している場合における併行利用先との連携> こどもの状態や支援内容の共有（声かけのタイミングやコミュニケーション手段等）をします。 併行利用の利用日数や時間等の調整をします。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> こどもが通う、もしくは通う予定の保育所等との情報連携や調整、相談援助（保育所等訪問支援） 担当する保健師や医療機関、児童相談所等の専門機関との連携 地域支援の体制の構築のための会議の出席 富谷市/黒川郡圏域のネットワークの中核機能としての機能 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 専門職による勉強会の参加 支援会議による課題の整理、共通理解、技術指導及び助言による支援の質の向上 虐待防止・身体拘束・権利擁護研修 BCP（感染症・災害）研修 各自eラーニングによる自己研磨 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 誕生会 ・避難訓練 ・遠足 ・プール開き会 ・家族参観 ・内科健診 ・歯科健診 ・母親勉強会 ・母親交流会 ・父親勉強会 ・父親交流会 ・祖父母参観 ・作業療法士勉強会 ・言語聴覚士勉強会 ・運動会 ・七五三お参り ・クリスマス会 ・節分豆まき会 ・卒園式 ・お別れ会 					